

# 立川先生を偲ぶ会

## スケジュール

2:30～2:33	黙とう
2:33～3:03	故人の紹介 森田昌敏先生
3:03～3:06	田辺信介先生からのメッセージの紹介
3:06～3:21	立川先生の生前のビデオ上映
3:21～3:26	献杯のあいさつ 中下裕子
3:26～4:20	参加者からの立川先生との思い出のお話 歓談
4:20～4:30	奥様ごあいさつ
4:30	閉会

日時：2017年9月9日

場所：文京区民センター2-A会議室

主催：NPO法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

## 立川 涼先生ご略歴

生年：昭和5年12月25日

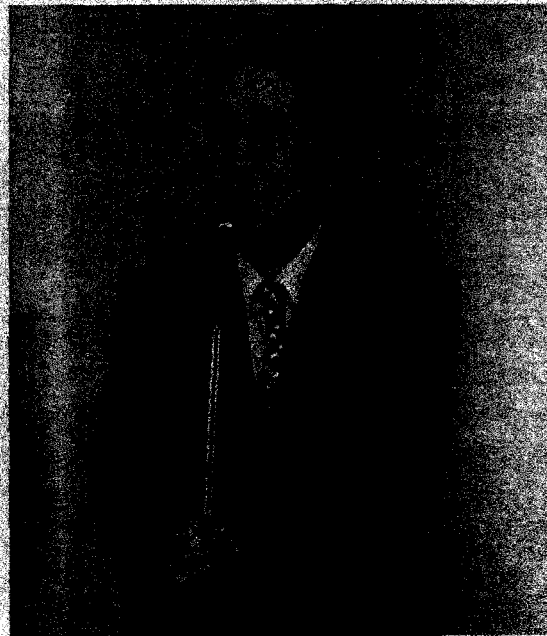
享年：88歳

### (学歴・職歴)

昭和28年	3月	東京大学農学部農芸化学科卒業
昭和33年	3月	東京大学農学部大学院研究奨学生後期(旧制)満了
昭和33年	4月	東京大学助手(農学部農芸化学科)
昭和37年	3月	農学博士(東京大学)
昭和38年	8月	米国オハイオ州立大学農学部PDフェロー(昭和39年10月まで)
昭和41年	5月	愛媛大学助教授(農学部農芸化学科)
昭和51年	4月	愛媛大学教授(農学部環境保全学科)
昭和62年	4月	愛媛大学大学院連合農学研究科長(平成3年3月まで)
平成5年	6月	愛媛大学農学部長(平成7年5月まで)
平成7年	9月	高知大学長(平成11年9月まで)
平成12年	4月	愛媛県環境創造センター所長(平成23年3月まで)

### (受賞歴)

昭和56年	2月	愛媛県政表彰
平成4年	3月	水環境学会功労賞
平成5年	3月	日本放送協会放送文化賞
平成10年	10月	地球化学研究協会学術賞(三宅賞)
平成12年	10月	ISI引用最高荣誉賞
平成19年	4月	瑞宝重光章
平成20年	9月	山階芳麿賞(鳥類学)
平成29年	5月	従三位



2015年3月撮影

### 財政再建に執念を燃やした元財務相

## 野謝の馨さん

5月21日、78歳で死去。



政界引退後もインターネットのホームページで発信を続けていた野謝馨さん。昨年6月には「内閣は財政立て直しの具体的な道筋を示してほしい」と記していた。2011年、東京・霞が関

日本の財政規律に命を懸けた「政策職人」だった。「増税は苦い薬。誰だっていやだが、危険が迫ってくるのいつまでも後の世代に先送りするのは許されない」

中曽根康弘元首相の秘書を務め、1976年に衆院議員に。通産相、官房長官などを歴任し、官僚作成の答弁に頼らず自らの言葉で政策を語った。

2005年、政調会長当時の党財政改革研究会の提言、経済財政担当相として08年に社会保障と税の抜本改革を断行し、39歳でがんを患い、闘病を続けた。咽頭がん

「患者になってもいいし、たたかれても耐える。どんな立場になっても財政再建はやる」。10年に自民党を離党し、変節と批判されながらも旧民主党政権下で経済財政担当相に。消費税10%への引き上げを柱とした。消費税率10%へ

「社会保険と税の一体改革」をまとめたのが最後の大きな仕事となった。祖母である野謝野晶子の和歌を自身の仕事の姿勢によく重ね合わせた。勢いよく重ね合わせた。殿堂にわれも黄金の釘一つ打つはるか昔からある和歌の世界に、1本でも価値のあるきを打ちたい。確かに歴史に黄金のきを打ち続けた生涯だった。(共同通信記者 梅岡真理子)

### 農薬汚染問題に取り組んだ 環境化学の先駆者で、元高知大学長

## 立川涼さん

5月9日、86歳で死去



晩年まで旺盛な好奇心で、幅広いジャンルの本や論文を読み続けた立川涼さん。最近ではトランプ米大統領の動向を懸念していたという。2016年3月、松山市

高度成長期の日本。豊かさを求め生産性が優先される中、人間社会が排他含農薬の使用を安易に出す化学物質が地球規模で環境や生態系に有害な影響を与えることを実証した。その先駆的な研究成果は、海外からも注目された。

「環境化学は研究だけで完結させてはならないが口ぐせで、実社会と常に向き合ってきた。母乳の農薬汚染を心配する母親の声にも熱心に耳を傾けていた」

愛媛大で立川研究室を継いだ名誉教授の田辺信介さん(66)は、国内外の現場を飛び回って農家から聞き取り調査をした姿をこう振り返る。

「環境化学は研究だけでなく、社会と向き合ってきた。母乳の農薬汚染を心配する母親の声にも熱心に耳を傾けていた」

「環境化学は研究だけでなく、社会と向き合ってきた。母乳の農薬汚染を心配する母親の声にも熱心に耳を傾けていた」

「環境化学は研究だけでなく、社会と向き合ってきた。母乳の農薬汚染を心配する母親の声にも熱心に耳を傾けていた」